

海外ビジネス情報

バンコク

タイ自動車産業の現状

北陸銀行 国際部
バンコク駐在員事務所
所長 湧川 裕明

1. はじめに

タイ工業連盟が発表した2024年9月の国内自動車生産台数は、前年同月比25.5%減の12万2,277台で、14か月連続の減少となりました。タイの主要産業である自動車産業では大きな変化が起きています。近況をレポートしたいと思います。

2. 国内新車販売

9月の新車販売台数は前年同月比37.1%減、16か月連続の前年比マイナスとなりました。現在タイの家計債務はGDP比90%と高い水準にあり、金融機関が自動車ローンの審査を厳格化した結果、自動車販売台数が落ち込んでいます。

メーカー別では、購買層の中でローン利用者が多いとされる1トンピックアップ車の割合が高いいすゞの減少幅が目立つ形となっています。また、中国市場の低迷で増えた在庫を東南アジアで値引き攻勢にて販売しているとされるBYDの伸びが顕著で、1~9月の累計では三菱を抜いて4番目のシェアとなっています。

<メーカー別自動車販売台数> (トヨタ・モーター・タイランドのデータより事務所作成)

メーカー名	2024年1~9月累計			2023年1~9月累計		
	台数(台)	前年同期比(%)	シェア(%)	台数(台)	前年同期比(%)	シェア(%)
トヨタ	167,218	-16.1%	38.1%	199,292	-4.5%	34.0%
いすゞ	65,269	-45.7%	14.9%	120,294	-26.5%	20.5%
ホンダ	58,311	-16.6%	13.3%	69,882	14.0%	11.9%
三菱	20,356	-23.3%	4.6%	26,552	-32.5%	4.5%
日産	7,368	-43.2%	1.7%	12,967	-25.8%	2.2%
マツダ	7,160	-47.9%	1.6%	13,732	-50.9%	2.3%
スズキ	4,787	-50.5%	1.1%	9,675	-37.6%	1.6%
スバル	571	-59.4%	0.1%	1,405	-13.6%	0.2%
日野	3,426	-56.7%	0.8%	7,914	-24.7%	1.3%
日本車計	334,466	-27.6%	76.2%	461,713	-15.4%	78.7%
BYD(比亜迪)	22,237	23.4%	5.1%			
MG(上海汽車)	12,975	-33.8%	3.0%	19,593	-5.4%	3.3%
NETA(合衆汽車)	5,200	-45.3%	1.2%			
GWM(長城汽車)	5,459	-40.0%	1.2%			
CPフォトン	454		0.1%			
現代	3,084	-24.4%	0.7%	4,080	25.3%	0.7%
起亜	1,339	66.7%	0.3%	803	-24.7%	0.1%
フォード	16,131	-44.0%	3.7%	28,786	2.0%	4.9%
ボルシェ	1,175	3.3%	0.3%			
ブジョー	156	-45.6%	0.0%	287	-38.3%	0.0%
その他	35,983	-11.9%	8.2%	71,608	110.6%	12.2%
合計	438,659	-25.3%	100.0%	586,870	-7.4%	100.0%

※2023年1~9月累計の「その他」には、BYD、NETA、GWM、CPフォトン、ボルシェの数字が含まれる。

3. 輸出

9月単月の輸出台数は前年同月比17.7%減で、3か月連続のマイナスとなりました。1～9月累計では減少幅は国内販売よりも少なくなっています。

<四輪完成車の輸出台数>

メーカー名	2024年1～9月累計		2023年1～9月累計	
	台数	前年同期比	台数	前年同期比
トヨタ	249,641	-12.9%	286,603	7.3%
三菱	160,300	-16.3%	191,548	6.2%
いすゞ	85,395	-7.8%	92,622	23.7%
ホンダ	38,336	25.0%	30,669	-5.3%
日野	0	-	0	-
日産	48,174	-19.8%	60,104	56.4%
マツダ	46,652	16.8%	39,943	65.1%
スズキ	354	-73.4%	1,329	13.8%
フォード	139,124	17.6%	118,334	40.1%
BMW	911	22.0%	747	-78.0%
合計	768,887	-6.4%	821,899	16.3%

(バンコク日本人商工会議所データより事務所作成)

4. おわりに

国内販売の不振の影響が大きく、生産台数も減少しており、日系メーカーの生産計画も下方修正が続いていると言われていています。ピークでは9割を超えていた日本車のシェアも、BYDをはじめとする中国EVメーカーの台頭により、7割台にまで落ち込んでいます。今年に入り、スバル、スズキが生産撤退を表明し、さらにはホンダが工場集約を発表するなど、日系自動車業界のサプライチェーンが今後どうなっていくのか、引き続き注意して見ていきたいと思えます。

<ご注意>

文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。記載内容については、ご利用者の判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
(株)人材情報センター内
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp